

ゲノム創薬学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Asai M, Kinjo A, Kimura S, Mori R, Kawakubo T, Shirotani K, Yagishita S, Maruyama K, Iwata N: Perturbed calcineurin-NFAT signaling is associated with the development of Alzheimer's disease. *Biol Pharm Bull* 39 (10): 1646-1652, 2016 (IF: 1.574)

A-e

1. Hatta D, Kajiyama K, Kurotaki N, Ozawa H, Asai M, Shirotani K, Iwata N: Analysis of glutamate-induced processing of proline-rich transmembrane protein 2 (PRRT2). The 30th International College of Neuropsychopharmacology World Congress (Seoul, Republic of Korea): E-abstract No. PT608, Jul. 3-5, 2016.
2. Iwata N, Hori Y, Watanabe K, Kinoshita M, Kawano Y, Hatta D, Honda M, Asai M, Shirotani K, Ohyama K, Kuroda N, Tanaka T. The 30th International College of Neuropsychopharmacology World Congress (Seoul, Republic of Korea): E-abstract No. PT608, Jul. 3-5, 2016.
3. Hatta D, Kajiyama K, Kurotaki N, Ozawa H, Asai M, Shirotani K, Iwata N: Cleavage mechanism of PRRT2 induced by excitatory amino acid. The 8th Takeda Science Foundation Symposium on PharmaSciences (Osaka, Japan): Abstract No. Poster 114 (p. 181), Jan. 21-22, 2016.
4. Asai M, Kawakubo T, Mori R, Kinjo A, Kimura S, Takashima S, Shirotani K, Maruyama K, Saido TC, Iwata N: DYRK1A is a triple modulator of Down syndrome patients to development Alzheimer's disease. The 8th Takeda Science Foundation Symposium on PharmaSciences (Osaka, Japan): Abstract No. Poster 071 (p. 138), Jan. 21-22, 2016.
5. Yoshizaki R, Higuchi E, Ikehara K, Colonna M, Hirayama M, Ohtsuki S, Asai M, Shirotani K, Iwata N: Identification of ligands for TREM2, a novel risk factor of Alzheimer's disease, and its functional analysis. The 8th Takeda Science Foundation Symposium on PharmaSciences (Osaka, Japan): Abstract No. Poster 070 (p. 137), Jan. 21-22, 2016.
6. Matsuo K, Ohtsuki S, Asai M, Shirotani K, Kondo T, Inoue H, Iwata N: Development of biomarkers specific for Alzheimer's disease subgroups. The 8th Takeda Science Foundation Symposium on PharmaSciences (Osaka, Japan): Abstract No. Poster 069 (p. 136), Jan. 21-22, 2016.
7. Hori Y, Watanabe K, Honda M, Kinoshita M, Kawano Y, Asai M, Shirotani K, Tanaka T, Ohyama K, Kuroda N, Iwata N: Development of disease-modifying therapy via enhancement of A β degradation for Alzheimer's disease. The 8th Takeda Science Foundation Symposium on PharmaSciences (Osaka, Japan): Abstract No. Poster 068 (p. 135), Jan. 21-22, 2016.
8. Mori R, Asai M, Kinjo A, Kawakubo T, Shirotani K, Iwata N: Defective function of regulated α -secretase activity toward amyloid precursor protein in fibroblast derived from Down syndrome patients. The 8th Takeda Science Foundation Symposium on PharmaSciences (Osaka, Japan): Abstract No. Poster 043 (p. 110), Jan. 21-22, 2016.

B 邦文

B-b

1. 岩田修永: Alzheimer 病の根本的治療薬開発を目指した ネプリライシン活性増強化合物の創製. *神経治療学* 33 (3): 425-427, 2016.
2. 八田大典, 岩田修永: AAV ベクターを用いたアルツハイマー病の遺伝子治療. *生体の科学* 367 (4): 329-334, 2016.
3. 堀 祐真, 渡辺かおり, 浅井 将, 城谷圭朗, 岩田修永: AAV ベクターを用いたアルツハイマー病防御遺伝子補充療法. *DEMENTIA JAPAN* 30 (1): 20-29, 2016.

B-e

1. 浅井 将, 金城亜衣美, 木村祥子, 森 亮太郎, 川久保 昂, 高島志風, 城谷圭朗, 岩田修永: カルシニューリン-NFAT シグナルの調節異常がアルツハイマー病関連遺伝子に与える影響. 第 33 回日本薬学会九州支部大会 抄録集 1-C-11 (p. 51), 2016.
2. 松尾和哉, 大槻純男, 浅井 将, 城谷圭朗, 近藤孝之, 井上治久, 岩田修永: アルツハイマー病サブグループのバイオマーカーの探索. 第 33 回日本薬学会九州支部大会 抄録集 1-C-10 (p. 50), 2016.
3. 森 亮太郎, 川久保 昂, 木村祥子, 高島志風, 城谷圭朗, 岩田修永, 浅井将: ダウン症細胞における構成的および調節的 α セクレターゼ活性の変化とアルツハイマー病神経病理の早期化との関連性. 第 33 回日本薬学会九州支部大会 抄録集 1-C-09 (p. 49), 2016.
4. 八田大典, 永井大己, 梶山啓助, 堀 祐真, 黒滝直弘, 小澤寛樹, 浅井 将, 城谷圭朗, 岩田修永: 新規シナプス分子 PRRT2 の神経興奮依存的プロセッシング機構の解明. 第 33 回日本薬学会九州支部大会 抄録集 1-C-02 (p. 42), 2016.
5. 吉崎涼平, 樋口恵理, Marco Colonna, 齊藤 隆, 浅井 将, 岩田修永, 城谷圭朗: アルツハイマー病新規危険因子

- TREM2 の機能解析. 第 33 回日本薬学会九州支部大会 抄録集 1-C-01 (p. 41), 2016.
6. 浅井 将, 金城亜衣美, 木村祥子, 森 亮太郎, 川久保 昂, 高島志風, 城谷圭朗, 柳下聡介, 丸山 敬, 岩田修永: ダウン症患者で見られる転写調節異常とアルツハイマー病の病態. 第 35 回日本認知症学会学術集会 抄録集 269 (p. 180), 2016.
 7. 城谷圭朗, 樋口恵理, 吉崎涼平, 松尾和哉, 浅井 将, 斉藤 隆, 岩田修永: TREM2 のリガンドおよびシグナル伝達機構の解析. 第 35 回日本認知症学会学術集会 抄録集 125 (p. 144), 2016.
 8. 岩田修永, 松尾和哉, 大槻純男, 浅井 将, 近藤孝之, 井上治久, 城谷圭朗: 患者由来 iPSC 細胞を利用したアルツハイマー病のバイオマーカーの探索. 第 35 回日本認知症学会学術集会 抄録集 124 (p. 143), 2016.
 9. 川久保 昂, 森 亮太郎, 木村祥子, 高島志風, 垣矢直雅, 津吹 聡, 西道隆臣, 浅井 将, 城谷圭朗, 岩田修永: DYRK1A と RCAN1 がもたらすアルツハイマー病神経病理における機能的役割に関する研究. 第 35 回日本認知症学会学術集会 抄録集 112 (p. 140), 2016.
 10. 堀 祐真, 渡辺かおり, 木下ももか, 河野佑紀, 八田大典, 浅井 将, 城谷圭朗, 田中 隆, 岩田修永: A β 分解酵素ネプリライシン活性増強化合物の *in vivo* 評価. 第 35 回日本認知症学会学術集会 抄録集 006 (p. 114), 2016.
 11. 岩田修永: 孤発性アルツハイマー病アミロイド蓄積の原因に則した治療薬と診断用バイオマーカーの開発. 第 18 回感情・行動・認知(ABC)研究会 抄録集 (p. 7), 2016.
 12. 河野佑紀, 本多美佳子, 藤本康平, 堀 祐真, 八田大典, 渡辺かおり, 木下ももか, 浅井 将, 城谷圭朗, 大山 要, 黒田直敬, 田中 隆, 岩田修永: カテキンによる β セクレターゼ活性調節作用のメカニズムの解析. 第 89 回日本生化学会大会 抄録集 2T17-05 (p. 97), 2P-360 (p. 171), 2016.
 13. 堀 祐真, 渡辺かおり, 木下ももか, 河野佑紀, 八田大典, 浅井 将, 城谷圭朗, 田中 隆, 岩田修永: A β 分解酵素ネプリライシン活性増強化合物の *in vivo* 評価. 第 89 回日本生化学会大会 抄録集 2T17-03 (p. 97), 2P-358 (p. 171), 2016.
 14. 吉崎涼平, 樋口恵理, マルココロナ, 斉藤 隆, 浅井 将, 城谷圭朗, 岩田修永: アルツハイマー病新規リスク因子 TREM2 の機能解析. 第 89 回日本生化学会大会 抄録集 2P-357 (p. 171), 2016.
 15. 木下ももか, 福田純也, 渡辺かおり, 堀 祐真, 八田大典, 河野佑紀, 浅井 将, 城谷圭朗, 田中 隆, 岩田修永: 新規天然ポリフェノールによる α セクレターゼ増強および β セクレターゼ活性抑制作用について. 第 89 回日本生化学会大会 抄録集 2P-356 (p. 170), 2016.
 16. 岩田修永, 松尾和哉, 森田知樹, 渡辺かおり, 八田大典, 浅井 将, 八幡直樹, 近藤孝之, 井上治久, 関 恒慶, 小林千浩, 戸田達史, 城谷圭朗: γ セクレターゼによる APP-CTF β の γ 切断部位を調節する内在性分子の解析. 第 89 回日本生化学会大会 抄録集 2P-355 (p. 170), 2016.
 17. 松尾和哉, 吉崎涼平, 大槻純男, 浅井 将, 城谷圭朗, 近藤孝之, 井上治久, 岩田修永: アルツハイマー病サブグループのバイオマーカーの探索. 第 89 回日本生化学会大会 抄録集 2P-354 (p. 170), 2016.
 18. 川久保 昂, 森 亮太郎, 木村祥子, 高島志風, 宮田愛彦, 垣矢直雅, 津吹 聡, 西道隆臣, 浅井 将, 城谷圭朗, 岩田修永: ダウン症関連遺伝子 DYRK1A と RCAN1 がもたらすアルツハイマー病神経病理における機能的役割に関する研究. 第 89 回日本生化学会大会 抄録集 2T17-01 (p. 97), 2P-352 (p. 170), 2016.
 19. 森 亮太郎, 浅井 将, 木村祥子, 川久保 昂, 城谷圭朗, 趙 一夢, 石浦章一, 岩田修永: ダウン症患者における早期アルツハイマー病発症と α セクレターゼ活性の関連解析. 第 89 回日本生化学会大会 抄録集 1P-329 (p. 136), 2016.
 20. 八田大典, 梶山啓助, 永井大己, 堀 祐真, 黒滝直弘, 小澤寛樹, 浅井 将, 城谷圭朗, 岩田修永: 発作性運動誘発性舞踏アテトーゼの発症に関わる proline-rich transmembrane protein 2 の神経興奮誘導性プロセッシングの解析. 第 89 回日本生化学会大会 抄録集 1P-320 (p. 135), 2016.
 21. 木村祥子, 浅井 将, 高島志風, 城谷圭朗, 岩田修永: ウルソール酸の APP 代謝および A β 分解への効果解析. 長崎大学薬学部育薬研究教育センターキックオフシンポジウム P2, 2016.
 22. 樋口恵理, 吉崎涼平, 浅井 将, 斉藤 隆, 城谷圭朗, 岩田修永: アルツハイマー病の危険因子 TREM2 のシグナル伝達機構の解析. 長崎大学薬学部育薬研究教育センターキックオフシンポジウム P1, 2016.
 23. 岩田修永: アルツハイマー病の創薬研究の新機軸. 第 40 回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム 抄録集 (pp. 20-21), 2016.
 24. 岩田修永, 堀 祐真, 木下ももか, 渡辺かおり, 八田大典, 河野佑紀, 浅井 将, 城谷圭朗, 田中 隆: A β の産生阻害と分解促進を作用点とする薬剤の開発. 第 4 回日本アミロイドーシス研究会 抄録集 2-1 (p. 32), 2016.

25. 川久保 昂, 森 亮太郎, 木村祥子, 高島志風, 宮田愛彦, 池内 健, 丸山 敬, 浅井 将, 城谷圭朗, 岩田修永 : DYRK1A と RCAN1 によるネプリライシン活性調節機構の解析. 第 21 回日本病態プロテアーゼ学会学術集会 抄録集 18 (p. 34), 2016.
26. 木下ももか, 福田純也, 渡辺かおり, 堀 祐真, 八田大典, 河野佑紀, 浅井 将, 城谷圭朗, 田中 隆, 岩田修永 : 天然ポリフェノール化合物による α セクレターゼおよび β セクレターゼ活性調節作用の解析. 第 21 回日本病態プロテアーゼ学会学術集会 抄録集 14 (p. 32), 2016.
27. 八田大典, 梶山啓助, 黒滝直弘, 小澤寛樹, 浅井 将, 城谷圭朗, 岩田修永 : 発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼ原因遺伝子 PRRT2 のグルタミン酸誘導性プロセッシングの解析. 第 46 回日本神経精神薬理学会年会 抄録集 P16-3 (p. 229), 2016.
28. 岩田修永, 森田知樹, 八田大典, 渡辺かおり, 浅井 将, 近藤孝之, 井上治久, 城谷圭朗 : アルツハイマー病 A β 分子種 A β 42/A β 40 の産生比を制御する分子の解析. 平成 28 年度日本生化学会九州支部例会 抄録集 P02 (p. 49), 2016.
29. 河野佑紀, 本多美佳子, 堀 祐真, 八田大典, 渡辺かおり, 木下ももか, 浅井 将, 城谷圭朗, 大山 要, 黒田直敬, 田中 隆, 岩田修永 : 脂溶性カテキン誘導体によるネプリライシン活性増強メカニズムの解析. 平成 28 年度日本生化学会九州支部例会 抄録集 B24 (p. 48), 2016.
30. 堀 祐真, 渡辺かおり, 木下ももか, 河野佑紀, 八田大典, 浅井 将, 城谷圭朗, 田中 隆, 岩田修永 : 脂溶性カテキン誘導体による脳内ネプリライシン活性増強作用の *in vivo* 解析. 平成 28 年度日本生化学会九州支部例会 抄録集 B23 (p. 48), 2016.
31. 八田大典, 梶山啓助, 堀 祐真, 黒滝直弘, 小澤寛樹, 浅井 将, 城谷圭朗, 岩田修永 : 発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼ原因遺伝子 PRRT2 のグルタミン酸誘導性プロセッシングの解析. 平成 28 年度日本生化学会九州支部例会 抄録集 B16 (p. 44), 2016.
32. 城谷圭朗, 樋口恵理, 吉崎涼平, 浅井 将, 斉藤 隆, 岩田修永 : 新規アルツハイマー病危険志 TREM2 からのシグナル伝達機構の解析. 平成 28 年度日本生化学会九州支部例会 抄録集 B12 (p. 36), 2016.
33. 浅井 将, 川久保 昂, 森 亮太郎, 岩田修永 : ダウン症患者における早期アルツハイマー病発症メカニズムの解明. 日本薬学会第 136 年会 (横浜) 抄録集 S54-2, 2016.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	6	2	1	3	29

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
岩田修永・教授	学術評議員、代議員	日本薬理学会
岩田修永・教授	評議員、研究基礎推進委員会委員	日本認知症学会
岩田修永・教授	Regional Editor	Current Neuropharmacology
岩田修永・教授	Editorial Board	International Journal of Clinical and Experimental Pathology
岩田修永・教授	Editorial Board	Open Pharmacology Journal
岩田修永・教授	Editorial Board	Scientific Reports
岩田修永・教授	評議員、学会賞選考委員会委員、薬事委員会委員	日本神経精神薬理学会
岩田修永・教授	評議員	日本生化学会
岩田修永・教授	評議員	日本病態プロテアーゼ学会
岩田修永・教授	シンポジウムオーガナイザー	第 21 回日本病態プロテアーゼ学会学術集会
岩田修永・教授	学会組織委員	第 90 回日本薬理学会年会
岩田修永・教授	科学研究費委員会専門委員	独立行政法人日本学術振興会

城谷圭朗 ・准教授	代議員	日本薬学会
浅井 将・助教	学術評議員	日本薬理学会
浅井 将・助教	代議員	日本薬学会

競争的資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
岩田修永・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	代表	脳科学研究戦略推進プログラム（融合脳） 孤発性アルツハイマー病アミロイド蓄積の原因に即した治療薬と診断用バイオマーカーの開発
岩田修永・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	分担	認知症研究開発事業 食品関連の危険因子・防御因子が作用する認知症の分子標的の解明と予防・治療法の開発
岩田修永・教授	独立行政法人 日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) APP から A β の切り出しを修飾する内在性タンパク質の機能解析
岩田修永・教授	独立行政法人 日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 脂溶性 EGCg 誘導体を利用した脳内カテキン受容体・結合タンパク質の同定と解析
岩田修永・教授	独立行政法人 日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) 21トリソミーから考える新規アルツハイマー病治療薬の開発
岩田修永・教授	厚生労働省	分担	科学研究費補助金 診療の質を高める研究 発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼ (PKD) の発症メカニズムの解明及び新規治療薬の開発
城谷圭朗 ・准教授	独立行政法人 日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) アルツハイマー病の個別化医療を目指したサブグループ特異的なバイオマーカーの同定
城谷圭朗 ・准教授	厚生労働省	分担	科学研究費補助金 診療の質を高める研究 発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼ (PKD) の発症メカニズムの解明及び新規治療薬の開発
城谷圭朗 ・准教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	分担	脳科学研究戦略推進プログラム（融合脳） 孤発性アルツハイマー病アミロイド蓄積の原因に即した治療薬と診断用バイオマーカーの開発
浅井 将・助教	独立行政法人 日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 21トリソミーから考える新規アルツハイマー病治療薬の開発
浅井 将・助教	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	分担	脳科学研究戦略推進プログラム（融合脳） 孤発性アルツハイマー病アミロイド蓄積の原因に即した治療薬と診断用バイオマーカーの開発
浅井 将・助教	独立行政法人 日本学術振興会	分担	基盤研究 (B) APP から A β の切り出しを修飾する内在性タ

			ンパク質の機能解析
--	--	--	-----------

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
岩田修永・教授	アルツハイマー病治療薬	2015年 11月6日	出願中	PCT/JP2015/081417
城谷圭朗 ・准教授	アルツハイマー病治療薬	2015年 11月6日	出願中	PCT/JP2015/081417
浅井 将・助教	アルツハイマー病治療薬	2015年 11月6日	出願中	PCT/JP2015/081417

その他

○特筆すべき事項

- ① 第89回日本生化学会大会 若手優秀発表賞 受賞：川久保 昂，森 亮太郎，木村祥子，高島志風，宮田愛彦，垣矢直雅，津吹聡，西道隆臣，浅井 将，城谷圭朗，岩田修永：ダウン症関連遺伝子 DYRK1A と RCAN1 がもたらすアルツハイマー病神経病理における機能的役割に関する研究。第89回日本生化学会大会，2016年9月26日，仙台
- ② 第89回日本生化学会大会 若手優秀発表賞 受賞：河野佑紀，本多美佳子，藤本康平，堀 祐真，八田大典，渡辺かおり，木下ももか，浅井 将，城谷圭朗，大山 要，黒田直敬，田中隆，岩田修永：カテキンによるβセクレターゼ活性調節作用のメカニズムの解析。第89回日本生化学会大会，2016年9月26日，仙台
- ③ 科学研究費助成事業 第1段審査（書面審査）委員 平成28年度表彰：岩田修永